



---

## 平成31年度予算編成について

---

昨日、「平成31年度予算編成方針」を各部局長に通知し、新年度当初予算編成作業を本格的に開始した。

### 1 予算編成の基本的な考え方

- 人口減少・少子高齢社会にあつて、本市の財政状況は、市税や地方交付税の減収が見込まれるほか、年度間の財源調整機能の役割を果たす財政調整基金の残高が減少し、その機能も十分確保できない状況にあるなど、引き続き厳しい財政状況にある。
- 財政状況を踏まえながらも、住みやすく、豊かな自然と歴史文化につつまれる中で、誇りをもって創造的に挑戦していくまち「市民創造都市 高岡」の実現を目指すため、成果が出始めている「まち」づくりを基盤に、「ひと」づくり、「しごと」づくりを引き続き着実に推進していく。とりわけ、「ひと」づくりでは、将来の高岡を担う子どもたちを健やかに育む施策について、戦略的に取り組んでいかなければならない。  
また、県西部6市で形成している「とやま呉西圏域」連携中枢都市圏では、2018年度が都市圏ビジョンの計画期間の中間年度にあたることから、今後、これまでの事業成果を発展させ、さらに6市の連携を深めながら、圏域全体への経済成長、住民サービス向上に結び付ける取組みとして展開していかなければならない。
- 現在、本市では、昨年度「財政健全化緊急プログラム」を策定し、2023年度当初予算における収支均衡を目指し、行財政運営の健全化に集中的に取り組んでいる。  
本年度はさらに、有識者で構成する「高岡市財政健全化アドバイザー会議」を設置し、「財政健全化緊急プログラム」の取組みの点検と、今後必要となる取組みについて協議いただき、先般、「財政健全化緊急プログラム」の実行性を高める「高岡市の財政健全化に向けた意見」をいただいたところである。
- こうしたなか、「財政健全化緊急プログラム」の着実な推進を基本姿勢としつつ、「高岡市の財政健全化に向けた意見」や政策協議（サマーレビュー等）での協議結果も踏まえ、これまで以上にコスト意識を持って個々の実務の検証及び創意工夫に努めるなど一層の効率化を図るとともに、未来志向の適切な投資に向けた予算編成を行い、持続可能な財政運営と「市民創造都市 高岡」の実現を目指す。

## 2 平成 31 年度予算編成のポイント

### (1) 部局別枠配分予算編成の実施（▲約 10 億円）

「財政健全化緊急プログラム」に掲げる削減目標を達成するため、次のとおり部局毎に一般財源の予算要求枠を設定する。

#### 【平成 31 年度予算要求枠】

一般行政経費の 20%相当を削減した額（一般財源ベース）を要求枠とする。

### (2) 未来志向型の予算要求枠の設定（+約 2 億円）

#### ① 将来を見据えた「ひと」づくり施策の推進

人口減少・少子高齢社会のなかでも、将来の高岡を担う子どもたちが輝く、新たな施策について幅広い視点で提案を募る。

#### ② 職員の創意工夫とチャレンジ精神を引き出すインセンティブ制度の導入

新たな歳入の創出やゼロ予算事業（予算措置不要な事業）の提案に応じて要求枠を拡大する。

[参考：予算編成日程]

10月3日（水）	予算編成方針記者発表
11月上旬	予算要求書の提出
1月中旬～1月下旬	市長査定
2月中旬	予算（案）の発表

担当：総務部 財政課（電話 20-1245 内線 2314）